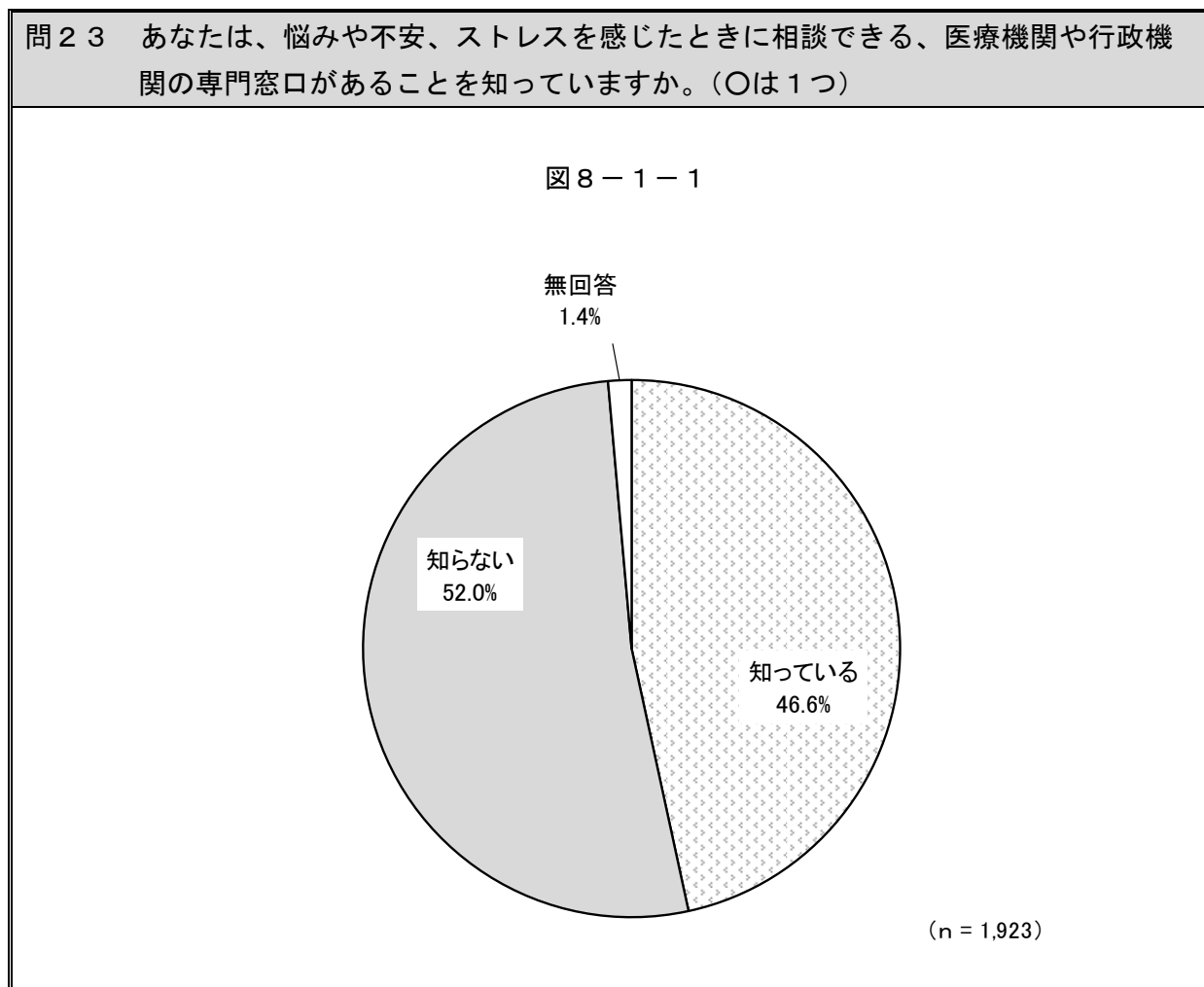


## 8. 悩みや不安の相談先

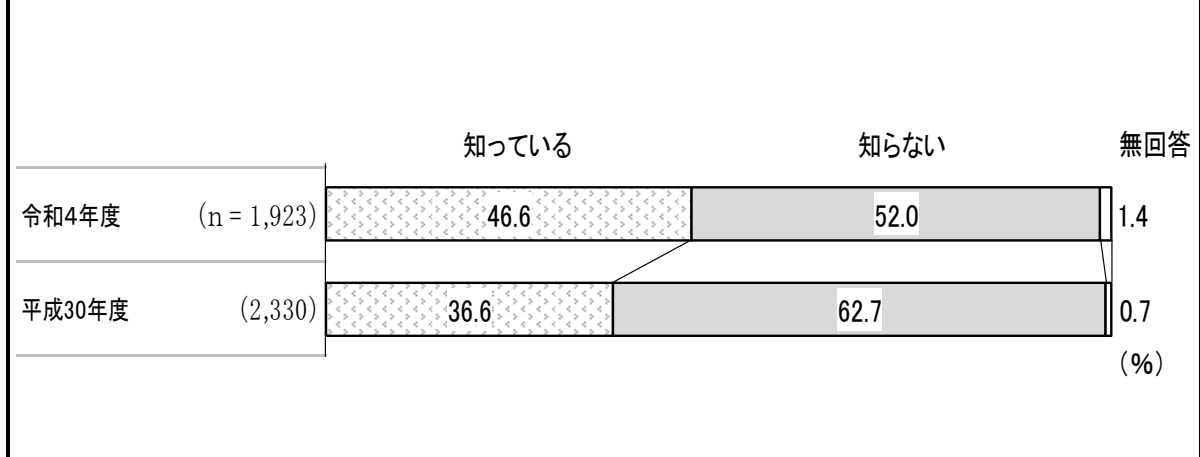
### (1) 相談できる医療機関や行政窓口の認知度

◎「知っている」が5割近く、「知らない」が5割を超え



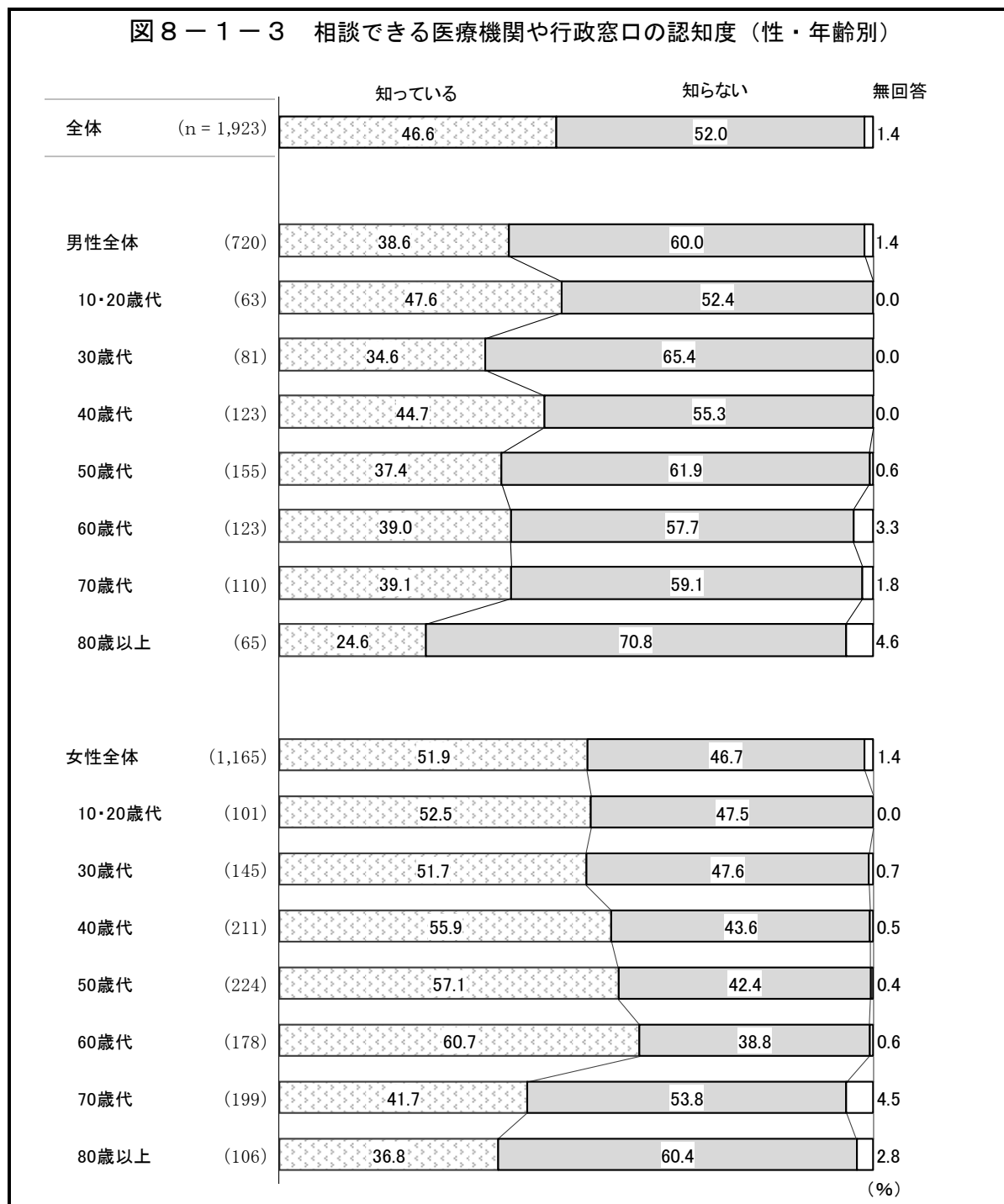
相談できる医療機関や行政窓口の認知度を聞いたところ、「知っている」(46.6%)が5割近く、「知らない」(52.0%)が5割を超えている。(図8-1-1)

図 8-1-2 相談できる医療機関や行政窓口の認知度（時系列）



平成 30 年度からの時系列の変化をみると、「知っている」は平成 30 年度（36.6%）から令和 4 年度（46.6%）で増加している。（図 8-1-2）

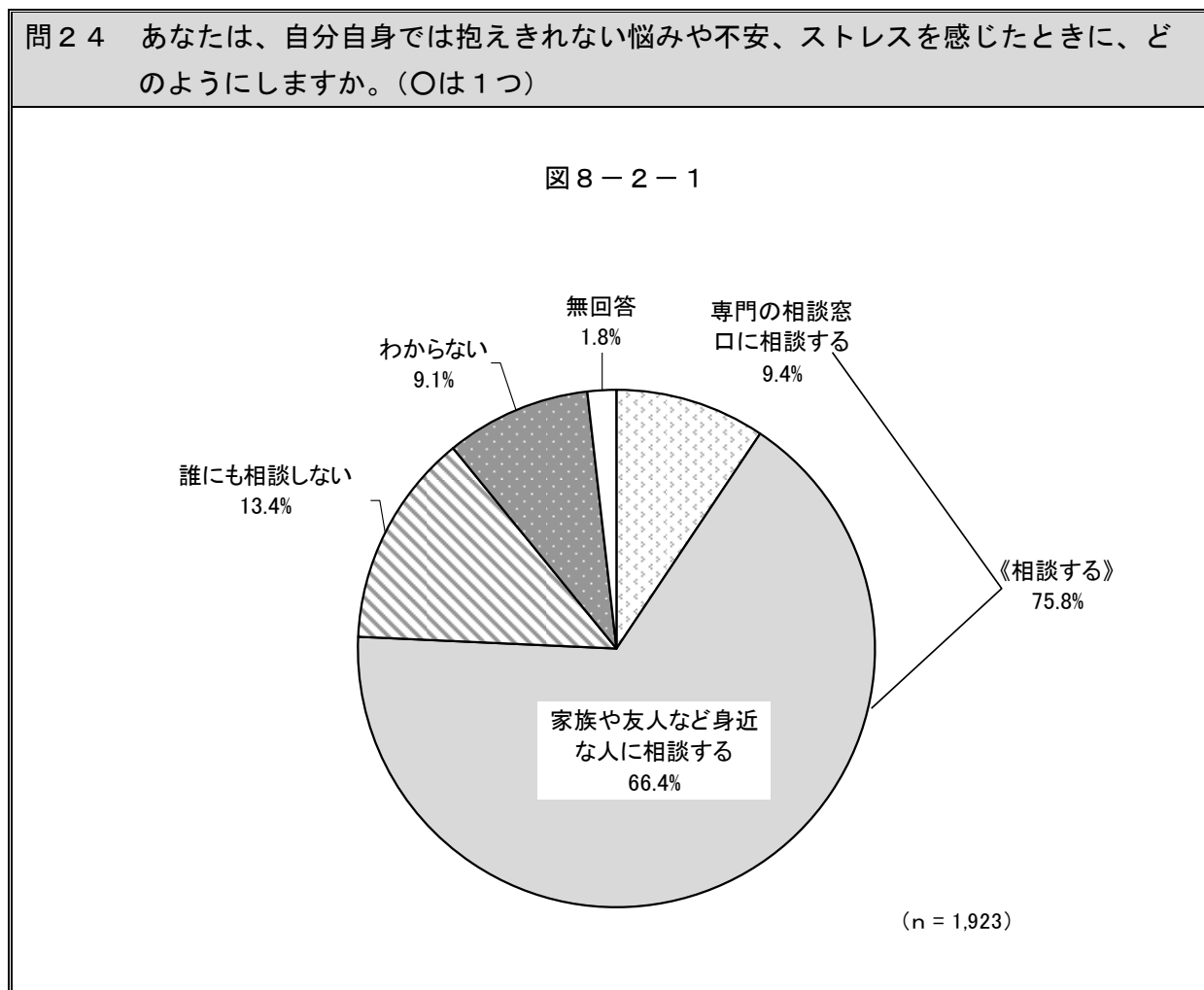
図 8 - 1 - 3 相談できる医療機関や行政窓口の認知度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「知っている」は全ての年代で、男性より女性の方が高く、認知度が高い。特に、女性60歳代ではほぼ6割と一番高くなっている。（図8-1-3）

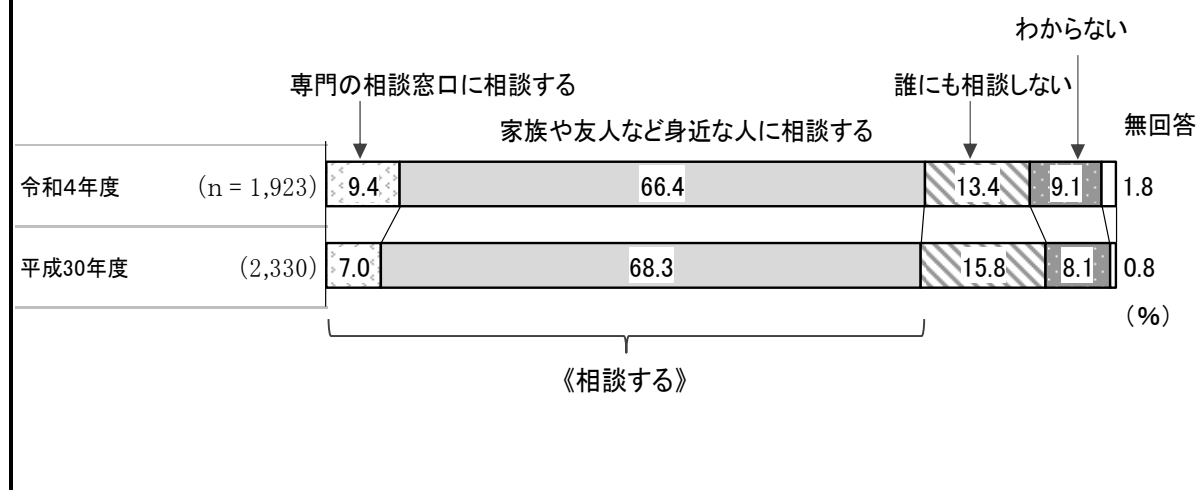
## (2) 悩みや不安の相談先

◎「家族や友人など身近な人に相談する」が6割半ば



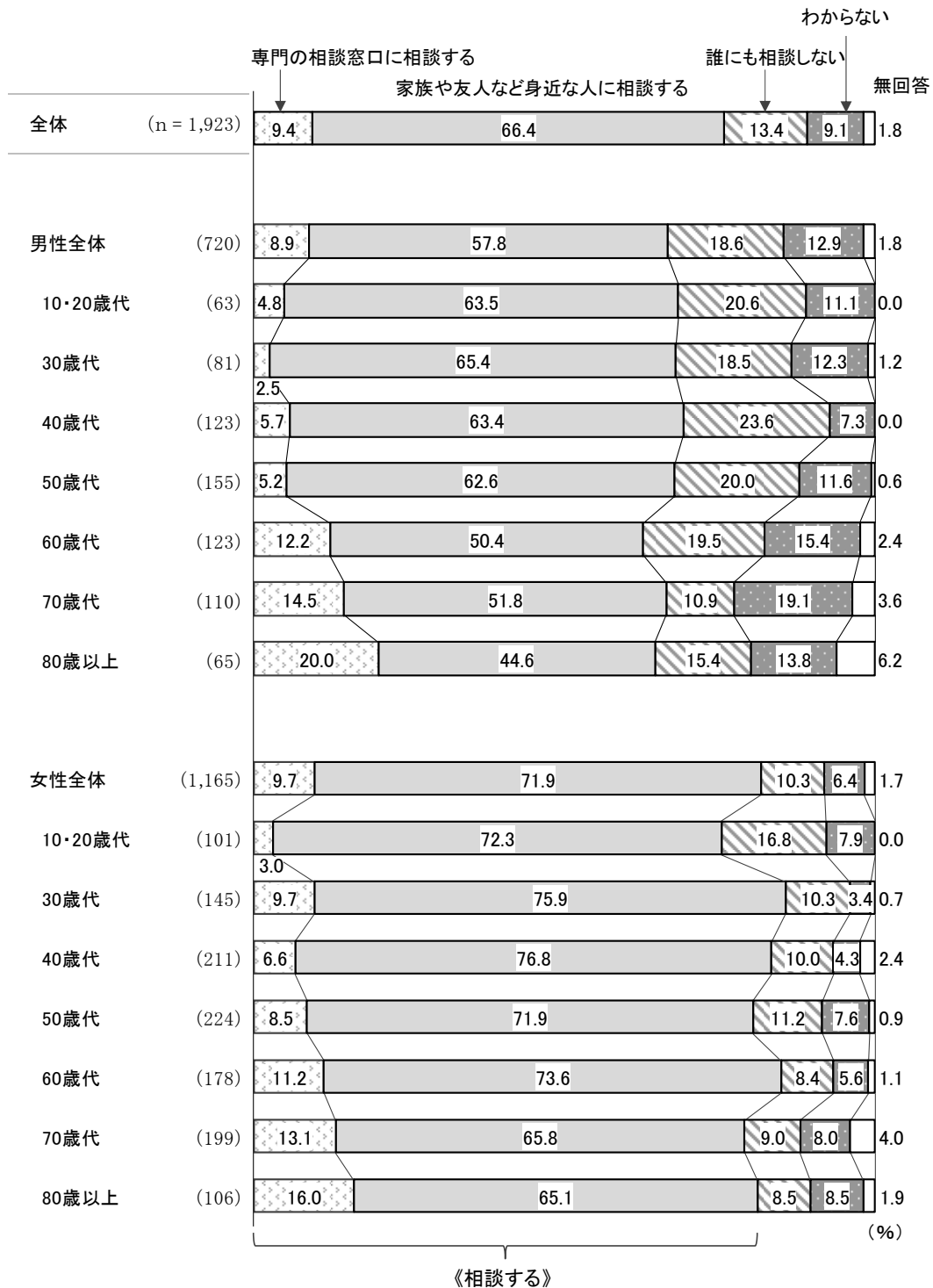
悩みや不安の相談先について聞いたところ、「家族や友人など身近な人に相談する」(66.4%)が6割半ばで「専門の相談窓口」(9.4%)と合わせた《相談する》(75.8%)が7割半ばとなっている。「誰にも相談しない」(13.4%)は1割を超えている。(図8-2-1)

図 8 - 2 - 2 悩みや不安の相談先（時系列）



平成 30 年度からの時系列の変化をみると、「誰にも相談しない」は平成 30 年度（15.8%）から令和 4 年度（13.4%）でわずかに減少している。（図 8 - 2 - 2）

図 8 - 2 - 3 悩みや不安の相談先（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「家族や友人など身近な人に相談する」は女性の40歳代で8割近くとなっている。「誰にも相談しない」は男性の40歳代で2割を超え、全ての年代で、女性に比べ男性の方が高い。（図8-2-3）